

議事録

件名	第 25 回外傷等動向調査委員会	
日時	令和 7 年 5 月 7 日(水) 18 : 30 ~ 20 : 30	
場所	久留米市役所 4 階 401 会議室	
出席者	委員	<p>山下 典雄 委員長 久留米大学 医学部教授</p> <p>三宮 貴彦 副委員長 一般社団法人 久留米医師会 理事</p> <p>古賀 仁士 委員 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 副院長兼救命救急センター長</p> <p>中尾 直人 委員 損害保険ジャパン株式会社 久留米保険金サービス課長兼担当部長</p> <p>村田 康裕 委員 久留米広域消防本部 救急防災課長</p> <p>藤田 利枝 委員 久留米市保健所長</p> <p>秦 美樹 委員 久留米市協働推進部長</p>
	オブザーバー	白石 陽子 日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事
	事務局	柳課長、山下主幹、新村補佐、田中（協働推進部安全安心推進課） 事務局、田中補佐、柿原（保健所総務医薬課）
	対策委員会事務局	柴尾次長（協働推進部）、前田（交通安全）、野口主幹、佐藤補佐、緒方補佐、佐々木（児童虐待防止）、松田（学校安全）、古賀課長、植松補佐、野田（高齢者の安全）、志方（防犯）、大場主査、森山主査（DV防止）、伊藤補佐、上野主査（自殺予防）、佐野課長、倉八補佐（防災）
欠席者	なし	
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外傷等動向調査委員会の役割について 2. 久留米市の安全安心に関する統計データについて 3. 各対策委員会の取組について 4. その他 	
〈 議 事 概 要 〉		
事務局	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から開会宣言 ・委員自己紹介 ・傍聴確認（傍聴希望者なし） ・オブザーバー紹介 <p>≪1. 外傷等動向調査委員会の役割について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 に沿って役割を説明。 <p>≪2. 久留米市の安全安心に関する統計データについて≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 に沿って説明。 <p>溺死溺水については変わらず多いことから、令和 7 年 1 月に医療機関や薬局にヒートショックを呼びかける啓発チラシなどを配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後シニアカーの利用が広がり事故件数も増える可能性があるため、新しくシニアカーの利用による事故件数をデータに追加した。 	

議 事 録

	<p>≪3. 各対策委員会の取組について≫</p> <p>【交通安全対策委員会】</p> <p>対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p> <p>【意見・質問】</p>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none">・ 短期指標を1つにした場合、2つを比較してよりよい方に注力できるなどのメリットがあった。これを1つにすると比較できない。・ ボード式アンケートは、属性が分かりにくくなるので、男女や年齢などで色を変えるとよい。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 出前講座でのアンケートはいい回答ばかり返ってくるので、いろんな形の啓発が市民の方に浸透しているかに着目したアンケートにしたい。
委員①	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者の免許返納は重要だが、家族も説得に苦労している現状がある。それに対してどうするかを一緒に考え、アドバイスできると良い。・ 車は交差点や路地で気を付けているが、自転車に乗った小・中学生は気にせず全力で走ってくる状況もある。子どもたちに車は危ないことを意識させてもよいのでは。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 小学生に怖い思いをさせない交通安全教室をしてきたが、そういう視点で教室を行うことも考えていきたい。
委員②	<ul style="list-style-type: none">・ これらの取組が十分に市民に浸透しているように見えない。高齢者が免許返納した後にどうするかも考えておかないと、ただ返納させるだけでは効果が乏しいように思う。
委員③	<ul style="list-style-type: none">・ 免許返納率は増えているが、一方で事故の割合は増えている。免許持ちの高齢者に対する返納率にすると、より実情を反映している。・ 若者の事故が多いこともあり、SNSを利用した広報があるかと思うが、投稿数も少なくフォロワー数も少ない。これを増やさないと効果が無い。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ データは検討していきたい。 <p>SNSを活用した啓発のほうも、今後も若者の力も借りて頑張っていきたい。</p>

議 事 録

	<p>【児童虐待防止対策委員会】</p> <p>対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p>
	<p>【意見・質問】</p>
委員④	<ul style="list-style-type: none">・ 新生児訪問は非常に充実した取り組みと思うが、マンパワーとしては足りているのか。また、訪問した方からの評価や感想のフィードバックはあるのか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ マンパワーについては連携しながら十分対応できていると感じている。また、フィードバックについてはすべて把握できているわけではないが、取り組む校区も増えてきているところから肯定的に捉えてもらっていると感じている。
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none">・ 虐待について、子ども自身が気付いてアクションすることを目的とするのであれば、子どもがどのレベルの知識を得てアクション出来るようになったかを視点にするとよい。
委員②	<ul style="list-style-type: none">・ 児童虐待する実母の年齢の割合はあるのか。イメージとして、若年層が子どもを産んで育てられなくなって虐待というイメージがある。年齢で傾向が見えないものかと思う。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ データとしての把握はないが、実務者の間隔としては委員の仰る通り、ネグレクト等の虐待は子ども時代に親から十分な養育を受けておらず、育て方が分からないという状況は感じる。・ 虐待は保護者が子どもに加えるものであり、実母のパートナーからの加害を止められないというネグレクトもあると思う。
委員④	<ul style="list-style-type: none">・ 年齢や家族背景だけではなく、サポートする人がいるかどうか等も意識するのはどうか。同じ母子家庭でもターゲットにする人がもっと絞れると、もっと有効な対策ができるのでは。

議 事 録

	<p>【学校安全対策委員会】 対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p> <p>【意見・質問】</p> <p>委員③ ・保健室の利用回数などのデータはあるのか。</p> <p>対策委員会 ・データは取っている。</p> <p>オブザーバー ・データのとり方について、学校の見取り図を保健室の前に貼っておいて、怪我した場所にシールを張ることをやっている。子どもたちも視覚的にわかるので気軽に楽しく収集できる。</p> <p>委員② ・スポーツの大会では怪我のデータを収集する団体もある。そんなに負担のあるような数は来ないだろう。擦過傷までは取らないでいいのかと思うが、どこで怪我をしたかは重要な情報かと思う。</p> <p>委員⑤ ・対策委員会同士の連携について、西国分校区は校区の防災訓練に小学校も参加している。仕掛け人は南筑高校の学生。</p> <p>委員④ ・学校における安全教育は学校の中でも行っているだろうが、それとの連携はしているのか。一貫性を考えて連携して行うと良い。</p> <p>委員⑥ ・擦り傷の数だけ集めると、学校によって数は違うと思う。数に着目しすぎない方が良くと思う。</p>
--	--

議 事 録

	<p>【高齢者の安全対策委員会】 対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p>
	<p>【意見・質問】</p>
委員②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の問題は、高齢者になる前の運動習慣が大きいと思う。高齢者になって運動や筋トレをするのは現実的でない。もっと若い時代から行っていく必要がある。
委員④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員②の意見はその通りと思う。久留米市は身体能力を上げたり維持するような取組は行っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康のびのびポイントアプリでポイントを付与する仕組みを設けて、日常の習慣を伸ばす取り組みを行っている。
委員③	<ul style="list-style-type: none"> ・ お風呂に関するパンフレットは数値の更新を実施して配布する予定か。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では、同じものを配布する予定である。
委員③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅改修費を支給することについて、お風呂からの呼び出しボタンの設置には利用できないものか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当課不在のため、確認して回答したい。 <p>【質問に対する後日回答】 介護保険の給付の対象となる住宅改修の種類は、次のように定められています。従って、対象には含まれません。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 手すりの取り付け (2) 段差の解消 (3) 滑りの防止、移動の円滑化などのための床または通路面の材料の変更 (4) 引き戸などへの扉の取り替え (5) 洋式便器などへの便器の取り替え (6) 前記の改修にともなって必要となる工事
委員⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴の時間がデータで出せるのであれば、冬は昼に入浴するなど生活習慣を改善できるのではないか。
委員①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護事業者への虐待研修の内容を知りたい。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者や管理者向けに研修を行っている。拘束する場合は虐待になることの啓発や、管理者へは防止マニュアルを整備して施設内研修を行っている。

議 事 録

委員①	・虐待の定義や認識が足りないものなのか。
対策委員会	・ 新任者や施設の幹部等対象ごとに工夫して、研修をやっている。
委員②	・ どの位の枚数を配布する予定なのか。外来では、ほとんどの方は溺死溺水が多いことを知らない。それは周知が出来ていないのでは。
対策委員会	・ チラシは昨年度作成したが、予算の関係上 1,000 部しか作成できていない。今年度は 2 万部印刷し、民生児童委員の皆様や病院・薬局・ドラッグストア・入浴施設に発送する予定。
委員④	・ 独居の問題もある。地域ケア会議で地域ごとの注意点を話すような捉え方でいいか。
対策委員会	・ ご指摘の通り。地域課題検討ケア会議での検討もある。階層的にケア会議の実施を行っている。
委員④	・ ケア会議はニーズに対して充足しているか。
対策委員会	・ 重要な課題については協議の中で対応できていると思う。
オブザーバー	・ 救急搬送を怪我ではなく、一人で動けないから搬送している場合も増えている。リスクの手前を認識するために、現在ターゲットになっていないケースにもそういう方がいるかもしれない。

議 事 録

	<p>【防犯対策委員会】 対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p>
	<p>【意見・質問】</p>
委員①	<ul style="list-style-type: none">・ ツーロックについて、盗まれた自転車はちゃんとロックされていたのか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 大体は無施錠であるものが多い。
委員①	<ul style="list-style-type: none">・ ということは、ワンロックでいいのでは。ツーロックの啓発が目的になってしまっていないか。まずは、ロックすることが重要と啓発していくべき。
委員②	<ul style="list-style-type: none">・ 自転車の交通ルールと同じで、自転車の盗難については家庭での教育も重要だと思う。
委員④	<ul style="list-style-type: none">・ 自転車窃盗を軽く考えている者による犯行と思われる。立派な犯罪であることを周知していく必要があると思う。若い人が盗んでいるのか。データはあるか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 盗む方も盗まれる方も十代が多い。盗んだ自転車も放置しており、交通手段として軽い気持ちで盗んで、使用後に放置している。
委員③	<ul style="list-style-type: none">・ その後検挙されるものか。盗んでも分からないという軽い感覚なのか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ なかなか検挙は難しいと聞いている。セーフコミュニティ通信等で啓発を行っている。その他、警察等と連携して啓発チラシの配布を行っている。
委員①	<ul style="list-style-type: none">・ 商業施設や駐輪場などで盗まれることも驚いた。そこに啓発物は無いのか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 防犯カメラなどもある状況で盗まれている。
委員②	<ul style="list-style-type: none">・ 防犯登録している自転車でも盗まれるのか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 現状として盗まれている。
委員②	<ul style="list-style-type: none">・ 自転車が立派な車両であるという認識が抜けているのではないか。欧米だと自転車でヘルメットを被るのは当たり前であり、日本の様に車の横ギリギリを走ることもない。認識・文化の差があるのでは。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 今後も啓発をしていく必要があると思う。来年から16歳以上に青切符が切られるよう改正されることもある。罰則があるからという訳ではないが、大切な命を守るということから、その件も啓発していきたい。

議 事 録

	<p>【DV防止対策委員会】 対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p>
委員①	<p>【意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今までの各対策委員の中で、虐待やDV等、共通の問題が見られる。各対策委員会で連携が必要ではないのか。
委員④	<ul style="list-style-type: none">・ 委員会同士の横の連携等はどのように考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 委員会同士の連携については、年に1回合同対策委員会を行っている。昨年度は「飲酒運転をなくすには」というテーマで活発な意見を頂いた。各対策委員会の顔合わせにもなっている。
委員②	<ul style="list-style-type: none">・ 割合は少ないと思うが、DVの被害者は男性もいる。女性だけがDVを受けているわけではない。久留米市でも確認できているものか。
対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 直近で行った市民意識調査では女性は20.3%、男性は12.0%である。
委員②	<ul style="list-style-type: none">・ 全国データだと、男性も5人に1人と聞いた。思ったよりも久留米市は少なく安心した。
委員③	<ul style="list-style-type: none">・ 若年層がターゲットということであれば、SNSの取組で各委員会投稿数を増やして、より効果を狙う方が良い。
	<p>【自殺予防対策委員会】 対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p>
委員④	<p>【意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自殺者の推移をみると、平成29年度に次いで少ない。取組の成果だと個人的には考えている。

議 事 録

	<p>【防災対策委員会】 対策委員会より資料に沿って説明。特に（キ）（ク）について説明。</p> <p>【意見・質問】</p> <p>委員④ ・地域の繋がりが昔はあったが、最近是个々の動きが強いような漠然としたイメージがある。近隣で一緒に避難するコミュニティがあると非難行動の率があがると思う。近隣で声掛けができるような状態になっているのか。</p> <p>対策委員会 ・周辺地と町中で状況に違いがあると思う。令和5年度の田主丸地区での大きな水害では、周辺への非難行動への呼びかけがあったかという点と少なかった実績がある。近隣で声掛けし合うと避難しやすいと思うので、改めて啓発に取り組んでいる。</p> <p>委員② ・田主丸地区での水害はあっという間のことだったので、声掛けする暇があったのか。</p> <p>対策委員会 ・土砂災害については、事態が急変してから逃げられなかったと思う。非難は5段階あるレベルのうち、3段階目で逃げの方が今までほとんどいなかったが、4段階は逆に外にでると危ない場合もあるため、早めの段階での避難を啓発している。</p> <p>委員⑦ ・若年層を巻き込んだとあるが、大学生の女性が友達同士で消防団に入ったニュースを見た。中学生へ啓発をするにしても、大学生から発信される情報が身近に感じられると思う。その大学生も働きながら活動を行うことで、発展につながると思う。久留米市内には大学があるので、声をかけて働きかけることも大切だと思った。</p> <p>《4. その他》 なし</p> <p>委員④ ・本日の議題は以上で終了としたい。 【了】</p>
--	--